



® 平成30年 2月21日(水)

No. 14632 1部370円(税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061

[電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3567-4671

近畿本部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4

(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971

経済産業調査会ポータルサイト <http://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円
(税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

目次

☆地域における観光と知的財産の関連性 (31) … (1)

地域における観光と知的財産の関連性 (31)

東京理科大学専門職大学院

教授 生越 由美

第5章 地域における事例

28. 愛知県岡崎市(商標権、地理的表示、営業秘密)^{1,2}

名古屋に行くとき必ず「味噌煮込みうどん」や「きしめん」を食べる方は多いと思う。筆者は「味噌煮込みうどん」派である。このうどんに欠かせないのが「八丁味噌」。この味噌の由来は「岡崎市(おかざきし)」であり、知的財産の観点からはいろいろな話題がある。今回は、この岡崎市について検討する。

岡崎市は、愛知県の旧三河国のほぼ中央に位置し、豊田市と共に西三河を代表する都市である。研究教育施設や歴史的な跡地が豊富で、文教都市の色が濃い。また、伝統的な地場産業には「八丁味噌」、「花火」、「額田の豆腐」などが有名である。NHKの連続テレビ小説『純情きらり』や大河ドラマ『徳川家康』は岡崎が舞台であった。

「岡崎」という地名は、中世に明大寺町にあったと



鈴榮特許総合事務所
SUZUYE & SUZUYE

〒105-0014 東京都港区芝3丁目23番1号 セレスティン芝三井ビルディング11階
電話 東京03(6722)0800(大代表) URL <http://www.s-sogo.jp/>

所長 ○弁理士 蔵田 昌俊(電気・通信)
副所長 ※弁理士 野河 信久(電子・通信)
理事 弁理士 鶴岡 健(生命工学)
理事 弁理士 矢頭 尚之(電子・通信)
常務顧問 弁理士 井関 守三(電子・通信)
△※弁理士 岡田 貴志(電子・ニューヨーク州弁理士)
弁理士 永島 建治(機械)
※弁理士 角田さやか(機械)
※弁理士 清水千恵子(海外商標)
※弁理士 矢野ひろみ(海外商標)
※弁理士 馬淵 繁(電気・通信・情報処理)
弁理士 土田 新(機械・バイオ)
弁理士 石井満和子(商標意匠・不正競争)

所長代行 ※弁理士 小出 俊貴(商標意匠・不正競争)
□ 弁理士 金子 博人(知的財産法務)
理事 弁理士 飯野 茂(物理・計測・分析)
常務顧問 ※弁理士 峰 隆司(電気・電子・通信)
※弁理士 佐藤 立志(電子・通信・ソフトウェア)
弁理士 堀内美保子(化学・バイオ)
※弁理士 宮田 良子(電気・電子)
※弁理士 朝倉 傑(電子・通信)
※弁理士 石川 真一(機械・バイオ)
弁理士 片岡 耕作(機械・制御)
弁理士 飯田 浩司(機械・電気・バイオ・医療機器)
弁理士 辻本 典子(バイオ)

所長代行 弁理士 福原 淑弘(電気・電子・通信)
主 監 弁理士 井上 正(電子・情報・通信)
理 事 弁理士 森川 元嗣(機械)
常務顧問 弁理士 河野 直樹(化学)
※弁理士 幡 茂良(商標意匠・不正競争)
※弁理士 金子 早苗(化学)
弁理士 堂前 俊介(電気・電子)
※弁理士 橋本 良樹(商標意匠・不正競争)
弁理士 中島 千尋(機械・制御)
弁理士 柴田紗知子(物理)
弁理士 中丸 慶洋(電子・情報処理)
弁理士 佐藤明日香(電気・通信)

○ 米国パテントエージェント(合格) ※ 付記弁理士(特定侵害訴訟代理) △ ニューヨーク州弁理士 □ 顧問弁理士

【顧問法律事務所】 弁理士法人 内田・鮫島法律事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目10番1号 虎ノ門ツインビルディング東棟16階 電話(03)5561-8550(代表) FAX(03)5561-8558 URL <http://www.uslf.jp/>

される明大寺城や矢作東宿が、竜美ヶ丘のある丘陵の出崎にあったことから名付けられたものとされる。初めてその名が確認できるのは、1484年作成の上宮寺「門徒次第之事」にある「オカサキ」との記述である。

1524 (大永4) 年に松平清康が龍頭山砦を占拠後、砦を拡張整備し「岡崎城」と命名して、松平宗家の本城とした。この岡崎城が現在の岡崎市の中心部であり、城を中心とした岡崎公園は桜の名所として有名である。市内に活断層や推定活断層は見つかっていない。

(1) 地理²

岡崎市は愛知県の中央部に、中央高地に連なる「美濃三河高原」と「岡崎平野」の接点にある。

中央アルプスに発する「矢作川」が市内を南北に流れている。東西には「乙川」が流れているが、市内に流れる20本くらいの河川の全てが「矢作川」の支流である。

この豊富な水を利用した大規模工場や水田地帯が市内にたくさんある。

沖積平野上に市の中心市街があり、市の東部は美濃三河高原を構成する山地となっている。最高峰は標高789mの本宮山であるが、平野部にも丘陵が点在しており、市内の標高差が700メートル以上ある変化に富んだ地形となっている。

市の約60%が森林であり、その豊かな自然環境から、自然公園法に基づき南部の桑谷山周辺が三河湾国定公園に、東部の本宮山及び巴山周辺が本宮山県立自然公園にそれぞれ指定されている。

名古屋市から約35キロメートルの距離にあり、市内を東西に国道1号、南北に国道248号及び国道473号が通っている。東名高速道路の「岡崎インターチェンジ」や、2016年2月13日に開通した新東名高速道路の「岡崎東インターチェンジ」という広域交通網の拠点でもある。愛知県道も数多くあるが、各所で渋滞が発生している。

鉄道は市内を東西に通る「東海道本線」及び「名鉄・名古屋本線」があり、岡崎駅から豊田市、瀬戸市方面へと接続する「愛知環状鉄道線」の合計3路線、17駅が設置されている。

面積は387.24平方キロメートル。愛知県内では、豊田市、新城市に次ぎ第3位である。人口も

381,031人と名古屋市、豊田市に続いて同じく第3位であり、2030年まで増加傾向が続くと推計されている。

市域の4割を占める東部の山間地帯にあたる「額田地区 (旧額田郡額田町)」の人口は少なく、平野部に人口が集中している。太平洋側気候で、特に平野部は温暖で、冬でも雪が降ることはほとんどない。

図1：岡崎市の地図



(2) 歴史³

旧石器時代から現在まで歴史の中心と関わることが多かった地域である。足利氏族である細川氏、仁木氏、戸崎氏、また、鳥居氏、大久保氏、土井氏の発祥地、江戸幕府を開いた徳川家康や、その臣下で、半蔵門の由来となった忍者服部半蔵こと服部正成や、東京青山に名が残る老中青山忠成ら、多くの三河武士たちの生誕地として有名である。中世の鎌倉街道や、江戸時代の東海道宿場町、城下町として栄え、歴史的に西三河地方の中心都市として機能してきた。中心部は旧額田郡で、明治時代初期には額田県の県庁所在地であった。

旧石器時代から矢作川や乙川の流域の平野部は、温暖な地域であったため、人々が生活していた地域であった。「仁木八幡宮遺跡」や美合の「五本松遺跡」などが旧石器時代の遺跡である。額田地区の「西牧野遺跡」は旧石器時代から江戸時代にかけての複合遺跡である。国の史跡となっている六名の「真宮遺跡」は、縄文時代から鎌倉時代まで